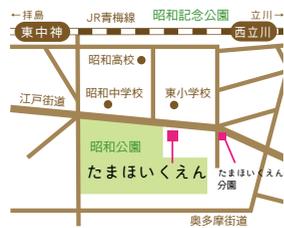


アクセスマップ

「くじらしま」は、昭島市内の以下の4園で開催している地域の子育て支援事業です。

たまほいくえん

〒196-0033
東町5-1-40
☎042-544-1151



なかがみほいくえん

〒196-0025
朝日町5-4-17
☎042-545-0255



イコロ昭和の森

〒196-0005
代官山1-2-2
☎042-545-0156



ミナバもくせいのもり

〒196-0035
もくせいの杜1-2-25
☎042-519-4378



「くじらしま」ではさまざまな支援活動をしています。地域で子育てを行っている方は、どなたでもご参加いただけます。詳細は、右のQRコードより、ご確認ください。



子育て支援
コンテンツ

イベントパーク（行事体験）

園の行事に参加、体験いただけます。

デイリーパーク（体験保育）

親子で日常の保育生活を体験（お子さまの給食有。無料）

子育てワークショップ

ミュージックダンス、わらべうた、食育、子育て広場、子育てサークル。

たまごパーク

妊婦さんや0歳児が対象の遊び場。身体測定も実施。

ひよこパーク

在園児以外のお子さまが対象の遊び場です。

育児相談（随時受付）

各園にて受付けています。時間をご相談ください。

園内見学（随時受付）

各園にて受付けています。時間をご相談ください。

一時預かり保育（有料）

地域のお子さま対象です。詳細は各園へお問合せください。

多摩育児会の子育て支援事業「くじらしま」は昭島の子育てを応援しています！

こそだておうえんマガジン

くじらしまだより



もくじ

おうちでできるシリーズ	……02
インタビュー 西脇さやかさん	……04
イコロ昭和の森の表現活動	……05
イコロ昭和の森のこそだてコンテンツ紹介	……06
ほいくの4コマ「ナツのなかま」	……07

2025 SUMMER

7-9月



[ねらい]
環境への興味
自立性の発達を援助
知性・意志・手の動きの統合

1 関心を深める 『植物に水をあげる』(環境のお世話)

子どもたちは歩けるようになると周りのものに興味を持ち始めます。大人が植物に水やりをしていると「自分もやってみたい!」という気持ちが芽生えてきます。
今回はこの「やりたい!」という気持ちを大切に、一緒に植物の水やり体験をしてみましょう。暑い季節、水に触れることも楽しい活動になると思います。

[やり方・手順]

①声かけ

「一緒にお花にお水をあげてみる?」など声をかける

②道具の準備

ジョウロやスポンジを用意しながら名前を教え、使い方を伝える

③大人がお手本を見せてチャレンジしてもらう

1. ジョウロを水道に運び、水を入れる
2. 水を入れ終わったら、スポンジで注ぎ口を押さえ、植物の前に持っていく
3. 利き手でジョウロの持ち手を持ち、逆の手で注ぎ口を支えて植物に水をあげる
4. 注ぐ場所を変えながら、均等に水をあげる
5. 土が湿ったことを確認する

④水やりの目印を置く

旗の意味を伝え、水をあげた植物の土に青い旗をさし、まだあげていない植物には赤い旗をさしておく。(水のあげすぎも防げる)

- ・青い旗: 水をもらいました
- ・赤い旗: 水がほしい



[準備するもの]
・子どもサイズのジョーロ
・スポンジ
・スポンジ置き



2 クリアファイルの お魚がきれいな魚釣り

タライやプール、お風呂で魚釣りを親子で楽しんでください。

[準備するもの]

- ・クリアファイル
- ・はさみ
- ・シール
- ・ビニールテープ
- ・クリップ
- ・割りばし
- ・綿紐
- ・磁石

[やり方・手順]

- ①クリアファイルをお魚の形に切る
- ②お魚の目を描いたり、模様を描く
- ③ビニールテープを貼って可愛くなります(魚の目はシールでも良い)
- ④出来上がった魚にクリップを付ける
- ⑤割りばし・綿紐、磁石で竿を作る
- ⑥完成!!



3 こわくなんてない おばけなんてないさ

せなけいこ絵(ポプラ社)

誰もが歌ったことのある童謡の絵本「おばけなんてないさ」のご紹介です。

子どもと一緒に歌いながら、「わくわく」した気持ちで楽しめる一冊です。

この絵本は、おばけや怖いものは何もないということを、子ども向けに明るく、肯定的に表現しています。「おばけなんてないさ〜」という繰り返しのフレーズに子どもたちが恐怖心を克服し、安心して暮らせるように励ますニュアンスが含まれています。

親子で歌いながら、楽しいひとときを過ごしてみたいかがでしょうか。

うたってみよう!





SUMMER INTERVIEW

イコロ昭和の森・心を開く表現活動 ● 西脇さやかさん 「生き活きのびのび、自由に表現」 (マーヤン)

多摩育児会では、さまざまな外部講師をお迎えして子どもたちの体験活動を行っています。今回はイコロ昭和の森で表現活動の講師をしていただいている”さーやん”こと西脇さやかさんにお話を聞きしました。

Q: はじめにさーやんについて教えてください。

さーやん: 私は幼稚園教諭から医療現場を経て臨床心理士の資格を取得し、現在は劇あそび・表現教育ファシリテーターとして、乳幼児親子向けの表現遊び、小中学生向けの演劇表現活動、保育者・保育学生向けの劇あそび講座などの講師などの活動を行っています。

Q: 劇遊び・表現教育ファシリテーターについて教えてください。

さーやん: 劇遊び・表現教育とは、演劇的な手法でコミュニケーション能力や主体性を育む教育のことで、日本ではまだまだあまり馴染みがないかもしれませんが、海外では「ドラマエデュケーション」などと呼ばれ、スタンダードな教育方法です。そしてファシリテーターとは、大人も子どもも対等に導き、双方向の場をつくっていくリーダー的な役割のことです。

Q: さーやんが表現教育活動で大切にしていることは何ですか？



さーやん: 子どもは常に「今」を生きています。表現活動は、年齢はもちろんその場、その時々で全く異なります。私は「こうしなければならない」と型にはめるのではなく、即興的に先生と一緒に子どもたちが生き活きのびのび、自由に表現を楽しめるような場を積み重ねていくことを大切にしています。

Q: 表現活動を行うことで先生や子どもたちには、どのような変化がありましたか？

さーやん: 集団の中で、子どもたち一人一人が自由に表現できる「安心安全」な場をつくるには、まずは先生たちが自由になることが大事です。先生が楽しんでいないと子どもたちも楽しむことができません。変化としては、初めは活動の様子を写真に撮るだけだった先生も、子どもたちの「何でもありの”もしもの世界”」の中の人として、一緒に楽しめるようになりました。先生方が表現活動の中で見せる、いつもとはちがった一面を見て、子どもたちも喜んでくれています。

私は、集団のエネルギーを感じながら、子どもたちの呼吸のタイミングを見計らって、緩急をつけて集団を意図的に動かしたり、空間を効果的に利用したりしています。これらのテクニックも、先生たちが活動の中で楽しみながら学び、保育の中で活かして下さると嬉しいです。

イコロ昭和の森 表現活動プログラムの 記録



【活動の目的】

- ・豊かな感性を育む
- ・表現することを楽しむ
- ・個性を尊重し、お互いを認め合う

【活動内容】

- ・挨拶ゲーム
- ・創造の世界遊び
- ・即興ストーリー (展開)

この日は、「あいさつゲーム」からスタート。「こんにちは！」の言い方や表情を変えてみたり、ちょっと恥ずかしそうにしたり、大げさにやってみたり。続いては、イメージの世界で自由に遊ぶ「創造あそび」。「雲の上を歩いてみたい!」「風に飛ばされそう〜」そんなふうな、子どもたちは想像の世界に入り込み、即興でお話をついたり、動きを考えたりして楽しみました。活動の中では、「それいいね!」「こうしたらもっと面白くなるかも!」と、お友だちのアイデアを認め合う場面もたくさんありました。



【子どもたちの学び】

思いを伝えたり、友だちの気持ちに気づいたりしていました。

ことばや動きのやりとりを通して、「気持ちを通わせるってこういうことなんだ」と子どもたちなりに感じていたようです。

【成長】

それぞれの個性やペースを大切にしながら関わっていくことで、「自分の思いつきを出してもいいんだ」「自分らしくていいんだ」という自信が、少しずつ育ってきました。

身体全体を使って表現することを楽しむ姿も増え、思いきり表現できる心地よさを感じているようでした。



こんな広がりも・・・

〈子ども会議への発展〉

こうした経験を重ねていく中で、子どもたちは自分の考えを自分の言葉で伝えられるようになってきました。行事前に開かれる「子ども会議」では、「こんなことしたい!」「どうすればうまくいくな?」と、友だちと意見を出し合いながら話し合う姿が見られました。それぞれの思いを大事にしながら、みんなでのつものことに向かって進んでいく、そんな姿が、自然に育まれています。





昭島市内の妊婦さん、未就園児を子育て中のみなさんへ

イコロ昭和の森の子育てコンテンツ

当法人では地域の子育て支援事業「くじらしま」を4園（たまほいくえん、中神保育園、イコロ昭和の森、ミナパもくせいのもり）で実施しております。今回はイコロ昭和の森で取り組んでいる子育て支援事業の中から「たまご・ひよこパーク」をご紹介します。



たまご・ひよこパーク

わらべうたと ふれあい遊び



わらべうたのメリット

- ◎言葉、数の概念が身につく
- ◎運動能力、リズム感を高める
- ◎社会性、認知能力の発達を促す
- ◎人とのふれあいを通じて愛着を形成する
- ◎自己肯定感（子ども自身が口ずさんで自らやってみたいという自主性が出てくる事によりそこの自主性が認められる事）を高める



ふれあい遊びの効果

スキンシップを取る遊びは、コミュニケーションを図る上で子どもに安心感を与えることができ、社会性の発達に必要不可欠なものと言えます。特に乳児期は心身の発達において基礎を形成する大切な時期でありこのような遊びを通して“周囲の大人に守られている”という安心感により他人への親しみへと繋がっていきます。また、ふれあい遊びからスキンシップを取ることで脳内物質「オキシトシン」が分泌され、このオキシトシンが多く分泌されることでストレスに強くなったり、情緒が安定したりします。他にも記憶力や思考力、感覚機能の成長など様々な効果が見られます。



動画で紹介

4月に実施した「たまご・ひよこパーク」の様子を以下QRコードよりご紹介します。ふれあい遊びの大切さや、この時期に好きな歌やわらべうたをお伝えし、親子でふれあい遊びを楽しみました。

【ご紹介した歌】

- ・うまはとしとし
- ・おつかいありさん
- ・ことりのうた
- ・ねんねんねやま
- ・うえからしたから



水辺のレジャーに ライフジャケット

夏は家族や友人と海・川で遊ぶ機会が増える季節。楽しい時間を安心して過ごすために、ライフジャケットの着用を忘れずに行ってください。水難事故は一瞬の油断で起こるため、事故防止には備えが不可欠です。実際、ライフジャケットを着ていた人の生存率は約90%、未着用の場合は約40%まで下がります。（出典：海上保安庁）安心して遊ぶために「着る浮き輪」＝ライフジャケットをレジャーの必需品として用意することをお勧めします。※安全基準を満たした「RAC認定品」がお勧めです。

多摩育児会ではライフジャケットの貸出を行っています。ご希望される方は、1週間前までに電話かメールで各園にお問い合わせください。

受付時間：月～金曜日 8:30-17:00

※土日祝日は対応できませんのでご了承ください。

貸し出しするもの：ライフジャケット
サイズ：幼児用（3～5歳児）キッズフリー
身長 85～125cm、胸囲 48～82cm、重量 442g、浮力 3.0 kg

貸し出し期間：1週間以内

返却の際のお願い：ライフジャケットは洗浄して汚れを落とし十分に乾燥させてから数や破損等がないことを確認して、ご返却ください。

園見学について

お子様の保育園を決める際、保育園見学はとても重要です。ホームページでも園の様子を見る事も出来ますが、実際に保育の様子や環境をご覧いただくことで、より安心してご入園いただけるかと思えます。各園では、園見学を随時実施しています。ご希望の方は右QRコードへアクセスしていただき「保活サイト」よりご予約いただけます。（7/25よりご利用できます。それ以前は直接各園（裏面参照）にご連絡ください。



ナッツのなかま

園のできごとを多摩育児会の保育士が4コマまんがでお伝えします！

